

## 女性の可能性を世界へ広げた教育者・・・津田梅子

富山県映像センター（映像センター課）では、生涯学習・学校教育などに役立つ映像教材を多数そろえています。今回は、2024年に発行予定の新5千円札の「顔」となる「津田梅子」の作品を紹介します。

### 「日本を変えた女性たち 第2巻」

#### 津田 梅子 女性の可能性を世界へ広げた教育者」（18分）

津田梅子は、日本初の女子留学生の一人として、わずか6歳でアメリカに渡り、11年間、勉学に励みました。女性の地位が低かった明治時代の初めに、親元を離れて異国の地で学ぶうちに、「日本に女子教育のための学校を作りたい」と大きな夢を持ちます。友人や恩師に支えられながら、着実に努力を重ね、ついにその夢を叶えるのです。

150年前の日本において、自分の信念を貫き新しいことに果敢にチャレンジする生き方は、困難な時代を生きる今の私たちに、大きなヒントを与えてくれることでしょう。

ちなみに津田梅子は、紙幣の女性肖像画としては3人目。あとの2人は誰でしょうか？

この他にも新作・名作など多数の映画を取りそろえています。

ご予約・ご利用をお待ちしております。



国立国会図書館 HP より転載

お問合せ：富山県映像センター TEL 076-441-8455 FAX 076-441-5334

## 大画面で映像を楽しみませんか？ わくわく土曜シアター

原田マハ作「キネマの神様」（文春文庫刊）。この3月に亡くなられた志村けんさん主演予定で映画制作が進んでいたことでも、ご存じの方も多いかと思います。映画好きにはたまらないこのお話に次のような一節があります。

「どの映画監督も大画面で観てもらうことを前提に制作している。DVDの普及で手軽に観ることができるようになったけれども、小さなテレビ画面で観てもらうことを考えて制作していない。」



7月11日（土）映画鑑賞の様子

映像センターの優秀映像を鑑賞する「わくわく土曜シアター」は、今年度より、高輝度なプロジェクター投影による140インチスクリーン、JBLスピーカーによる高音質音響で映像を視聴できるようになりました。映像作者の細かな工夫もよく伝わってきます。

ぜひこの機会に、富山県教育文化会館5階ハイビジョン学習室へ足を運んでいただき、映像の世界にひたっていただければと願っております。皆様のお越しをお待ちしております。